

intertek news

Vol.87

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 新年のご挨拶

02 特集

03 気候変動への対応で持続可能な企業を目指す

04 News&Topics

- ▶ 世界のISO認証件数が公表
- ▶ JGAP・ASiAGAPアドオン規格「+SA」認証で業界初の仮認定取得
- ▶ きたかみ・かねがさきテクノメッセ2024に出展
- ▶ Q&A

05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介
(株式会社シンコー／
株式会社ウエストグローバル 米軍契約工事事業部)

06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ
「北海道スキーマラソン大会参加」
(審査員 井上 篤夫)
- ▶ 環境とISO 14001
「エネルギー基本計画改定を注視する」

07 お客様からのお便り

- ▶ 「世界の家族にあらたな体験と感動を」
(オージークエ技研株式会社)
- ▶ 「お客様に『感動』していただける仕事」
(有限会社大湯石材店 本社・展示場)

08 研修コースのご案内

- ▶ ちょっといつぶく
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り
(Institution for a Global Society 株式会社)

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>

新年のご挨拶

きむら ともあき
代表取締役 木村 朋聰

新年あけましておめでとうございます。

2024年は、インターテック・サーティフィケーションの認証・監査事業にとって、重要な転換を遂げる一年となりました。

ISO認証におきましても、規格に気候変動への配慮に関する追加が行われ、弊社の他のサービス全体においても、よりサステナビリティに関連する認証や監査が増加いたしました。



2025年以降も、お客様や、世の中のサステナビリティ需要の高まりは継続すると見込まれています。インターテックグループ全社のパーザス(存在意義)として制定している、「世の中に、品質と安全、サステナビリティをもたらす」事の重要性をより深く実感しております。

例えば、日本でも、サステナビリティ情報の開示の義務化や、加えて、環境面では、温室効果ガス(GHG)排出の算定と削減、そして、リサイクルなどを含む資源の効率的使用が重要視され、社会面では労働環境や地域貢献が問われています。企業ガバナンスでは、ESG(環境・社会・ガバナンス)の観点からの企業戦略が必要となってきています。インターテックでは、これらの要求事項に対応し、お客様の事業へのサポートを更に拡充する準備を進めております。

日本におけるインターテックの認証・監査チーム、製造設備や電気製品、医療器具の試験のチーム、製造工場、プラント建設現場、港湾などで検査を行うチーム、食品・化学品チーム、そして衣料品や生活雑貨の試験チームなどにおきましても、加速的に広がる昨今の市場の変化のスピードに対応できるよう新たなサービスの開発を行っており、あらゆるお客様の成長と、発展、そして、グローバル市場への展開を実現するためにお客様が必要とするサービスの提供を行いたいと思っております。

インターテックは、常にお客様重視の理念で、付加価値サービスと革新的なソリューションをもたらし、私たちが培ってきた専門知識を駆使して、お客様が、グローバルな市場で成功するための触媒となっていく所存です。

最後に皆様の常日頃からのお支援に心より感謝申し上げます。お客様とのトータル品質のパートナーとして、サポートを広げていくことは、私たちにとって極めて重要なことであり、新たな年に向けて、お客様のあらゆる品質の課題に対するソリューションが提供できるように努めていきたいと思います。

また、世の中の新しいサステナビリティのニーズに対応し、社会に貢献ができるように社員一同精進してまいります。

新年が皆様とご家族にとって、健康で幸せな一年となりますようお祈り申し上げます。